

事業番号	06 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	資源循環システム構築事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	
		実施期間	S46 ~	E-mail	junkan @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・循環型社会の形成を推進するため、4 R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）を意識した取組を進める必要がある。
- ・県民1人1日当たりの一般廃棄物排出量790gを達成するため、4 Rのうち特にリデュース、リユースを意識し、県民と一体となりごみを減らすライフスタイルへと変えていく必要がある。
- ・平成30年度の県内の産業廃棄物排出量は約450万tで中長期的には増加傾向であり、排出事業者等の3 R（リデュース、リユース、リサイクル）及び適正処理に向けた取組が必要である。

2 事業目的

4 Rを意識した取組を一層進めるため、プラスチックごみや食品ロスの削減について継続的な啓発等を実施するとともに、事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①「信州プラスチックスマート運動」の推進

- ・「3つの意識した行動」を浸透させるため、テレビCM等様々な媒体で呼びかけを実施
- ・事業者のプラスチックごみ削減に係る取組を後押しするため、「信州プラスチックスマート運動協力事業者」の登録



「信州プラスチックスマート運動」啓発ポスター

②食品ロス削減の推進

- ・食品ロスの削減を推進するため、以下の取組を実施
 - 「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」の推進
 - ・事業系の食品ロス削減のため、「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」の登録を実施
 - ・宴会や家庭での食品ロス削減を呼び掛ける「残さず食べよう！30・10運動」を推進
 - ・店舗における食品ロス削減のため、小売事業者と連携し、「信州発もったいないキャンペーン」を推進
 - 未利用食品の提供（フードドライブ）の推進
 - ・フードバンク活動の推進のため、新聞広告による啓発を実施



「信州発もったいないキャンペーン」POP

③事業者の廃棄物処理に係る意識高揚

- ・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物3 R実践講習会を開催

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	「信州プラスチックスマート運動協力事業者」新規登録数	店舗	19	27	↗	42	↗	40	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。	
②	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」新規登録数	店舗	41	61	↗	53	↘	40	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。	
③	産業廃棄物3 R実践講習会の参加者人数	人	294	136	↘	160	↗	300	未達成	事業者の廃棄物処理に係る意識高揚の機会として、産業廃棄物3 R実践講習会の近年の平均参加者数を目標値とした。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進	1人1日当たりのごみ排出量	g	2020 (R2)	807	2021 (R3)	800	2022 (R4)	802	2025 (R7)	790
2-2④	循環経済への転換の挑戦	一般廃棄物リサイクル率	%	2020 (R2)	21.4	2021 (R3)	22.6	2022 (R4)	22.0	2025 (R7)	20.0

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	16,384	0	16,384	527	14,458	3.4
R4年度	0	13,488	687	14,175	1,204	12,552	3.4
R3年度	0	12,474	145	12,619	2,200	10,164	3.4

事業番号	06 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	資源循環システム構築事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	

7 主な取組実績と成果

①「信州プラスチックスマート運動」の推進

- ・広報啓発
テレビCM：96本、a b n 駅前ビジョン：1,800回
信毎朝刊全県版カラー広告：2回
県内映画館でのシネアド配信：総動員数43,387人
インターネット広告：インプレッション数（表示数）3,341,009回
- ・信州プラスチックスマート運動協力事業者
協力事業者数：139事業者678店舗



「信州プラスチックスマート運動」
インターネット広告

②食品ロス削減の推進

- ・「残さず食べよう！30・10運動」
テレビCM：96本、ラジオCM：38本、街頭啓発の実施
- ・「信州発もったいないキャンペーン」
ラジオCM：38本 小売事業者と連携して啓発：31事業者1080店舗
- ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」
協力店数：954店舗



「残さず食べよう！30・10運動」
街頭啓発

③事業者の廃棄物処理に係る意識高揚

- ・産業廃棄物3R実践講習会の開催（1回 WEB形式）
- ・信州リサイクル製品認定審査の実施

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「信州プラスチックスマート運動協力事業者」新規登録数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
令和3年度、令和4年度と目標である40店舗に届いていない状況を分析し、地域や業種を絞って協力依頼をすることにより、目標を達成することができた。							
指標②	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」新規登録数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	達成
健康福祉部のほか、松本市、上田市と連携して協力店を募集することにより、目標を上回って達成することができた。							
指標③	産業廃棄物3R実践講習会の参加者人数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
前年度よりは数値が改善したものの目標達成には至らなかった。令和3年度は、翌年度施行される法律（プラスチック資源循環促進法）を講演のテーマとし、施行直前という事情もあり、例年以上に参加者が多かった。一方、令和4年度以降はそのような事情もなく、目標の参加人数に達しなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の形成を推進するため、4R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）を意識した取組を進めることが必要である。 ・県民、事業者及び市町村と一体となりごみを減らすライフスタイルへと変えていくことが必要である。 ・産業廃棄物3R実践講習会における事例発表は製造事業者の事例が多かったが、参加者からは他業種の実例発表も聞きたいという意見があり、製造業以外の事業者の取組を研究していくことも必要である。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・エコスタイル（ごみ減量などを取り入れた環境負荷の小さい生活様式）を作り出すため、事業者の取組の後押しをするとともに、消費者に対しては、ターゲットや広報媒体を考慮した効果的なプロモーション（意識啓発）を実施していく。 ・産業廃棄物3R実践講習会については、参加事業者にとって、より関心度が高く、ニーズに合ったテーマを選定するとともに周知期間を十分確保する。

事業番号	06 06 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	資源循環システム構築事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	資源循環システム構築事業費		10,164 千円	12,552 千円	14,458 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	"チャレンジ800"ごみ減量推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの削減のため、信州プラスチックスマート運動を推進し、各種媒体を活用した啓発を実施 ・食品ロス削減の推進のため、「残さず食べよう！30・10運動」、「信州発もったいないキャンペーン」等の実施により、各種媒体を活用した啓発を実施 テレビCM（192回）、新聞広告（5回）、映画館広告（県内3館） <ul style="list-style-type: none"> ・信州プラスチックスマート運動協力事業者 協力事業者数：139事業者678店舗 ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」 協力店数：954店舗 		
2	産業廃棄物3Rサポート事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物3R実践講習会を開催 産業廃棄物3R実践講習会の開催（1回）		